

第6回入学式 式辞（令和8年度）

校庭の桜が咲き誇り、柔らかな春の光が新しい門出を祝福しているかのような、このよき日。本日、晴れの入学式を迎えられた128名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新たな門出を迎えるこの日、皆さんを心から歓迎いたします。高洲中学校へようこそ。

本日は、みなさんがこれから歩む新たな学びの旅の始まりの日です。在校生、教職員一同、みなさんのご入学を心から歓迎します。また、多くのご来賓の皆様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、第六回高洲中学校入学式が挙行できますこと、大変喜ばしく、心より感謝申し上げます。

さて、みなさんは中学校に足を踏み入れた今の気持ちはどうでしょうか。入学するにあたり、新しい制服に身を包み、凛とした姿勢とキラキラ輝く瞳は、希望に満ちてとても素敵です。新しい環境への期待や不安もあることでしょう。誰もが体験する期待と不安ですが、小学校で学び、身につけた知識や経験を中学校生活でも積極的に発揮することが不安解消につながります。また、中学校で仲間となる同級生や先輩、先生方と新たな縁を結ぶことで、皆さんの成長と成功を支援していく仲間がふえます。日々の生活が楽しく充実したものに変わります。自信をもって生活してください。

特にみなさんに心がけてほしいことは、私たちの学校の校訓である「感謝・練磨・創意」は、みなさんがこれから学びの中で大切にしてほしい心構えです。また、私たちの学校教育目標である「豊かな心を持ち、自ら考え自ら学び、たくましく生きる生徒の育成」は、みなさんが将来、社会の中で活躍できる力を養うためものです。

「感謝」とは、支えられていることに気づける人。だからこそ人を大切にできる人になります。感謝の心を持つ人は、周囲から応援される人になります。まずは「ありがとう」と言える素直な心を持ってください。それが、教育目標にある「豊かな心」を育む第一歩です。

「創意」とは、新しいものを創り出す力、工夫する力のことです。

これからの時代、正解のない問いにぶつかることが多くなります。誰かの真似をするだけでなく、自分なりのアイデア＝創意を働かせてください。皆さんの若い感性が、この学校に新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。

「練磨」とは、自分を鍛え、磨くという意味です。中学校での学習や部活動は、小学校よりも一段と高度になり、時には壁にぶつかることもあるでしょう。

しかし、ただ教えられるのを待つのではなく、「自ら考え、自ら学び」、答えを見つけ出そうとする姿勢を持ってください。自分を磨き続ける（練磨する）プロセスこそが、困難を乗り越えていく「たくましく生きる」力へとつながります。

新しい学校生活が始まり、たくさんの挑戦や学びが待っています。時には困難に直面することもあるでしょう。しかし、そのような時こそ、自分を信じ、周りの人々と協力しながら乗り越えていってください。新入生のみなさんには、新しい仲間とともに新しい生活が始まりますので『感謝 練磨 創意』を大切にして中学校生活をスタートしてほしいと願っています。みなさん一人一人の成長を、私たち職員一同、心から応援しています。

最後に、みなさんがそれぞれの個性や才能を発揮し、楽しく充実した学校生活を送ることを心から願っています。一緒に素晴らしい学びの旅を始めましょう。

保護者のみなさま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。凛々しく式に臨まれているお子様の姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。一方で、中学校の3年間は心身ともに一段と成長していく時期ですので悩みが多くなり不安に感じているらっしゃることと思います。

私たち教職員は、お子様の健やかな成長のため、皆様と協力し、精一杯努力する所存です。この高洲中学校の生徒でよかった、高洲中学校に子どもを通わせてよかったと思っただけのような教育活動を展開していき、地域・社会に貢献できる人材育成に力を注いで参ります。

本校の教育活動に深いご理解と、惜しみないご支援を賜りますようお願い申し上げ、式辞とさせていただきます。

令和8年4月9日

千葉市立高洲中学校 校長 米倉 秀明